



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ

例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1
 事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016
 e-mail:nwrc@sweet.ocn.ne.jp



会長／井上 明彦 幹事／南 信行 クラブ会報委員長／関 幸博
 SAA／小池 裕孝 副 SAA／村田 秀雄

第1264回例会 2013年（平成25年）9月20日（金）

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を
 ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

会長挨拶 井上明彦会長

「WEST SIDE STORY」

東京オリンピックの開催は1964年、その時代を思い出します。世界中から多くの外国人が来日し、初めて欧米の文化を身近に感じられた日々でした。自然と欧米の映画を観る機会が多くなりよく行った映画館は千石映画館、スカラ座、ピカデリー。1960年代のハリウッド映画を通してアメリカの文化に憧れている私でした。そして最近は思い出の映画「午前十時の映画祭」を楽しんでいます。

今上映中の“WEST SIDE STORY”を観てきました。New York の Westside を舞台にして白人の非行グループとプエルトリコの移民少年のグループが抗争を繰り広げる、皆さんご存知のミュージカル映画です。主演はナタリー・ウッドとジョージ・チャッキリス、リチャード・ベイマーで、監督はロバート・ワイズです。「ロミオとジュリエット」をベースにしているラブロマンスです。第34回アカデミー賞で10部門の賞を獲得した傑作ミュージカルです。特にラストのナタリー・ウッドは最高でした。半世紀たって再びこの作品を鑑賞しましたが、大変刺激的でまた新しい理解がありました。

この映画は自分が初めて観たミュージカルで、この後は、「南太平洋」、「メリーポピンズ」「シカゴ」「マンマミーヤ」「キャッツ」等々好んで鑑賞しています。皆さんの思い出も是非お聞かせください。今日の例会も楽しくお付き合い下さい。

幹事報告 南 信行幹事

- ・27日ガバナー補佐事前訪問例会 例会前にガバナー補佐と会長、幹事とで懇談会があります。例会後はガバナー補佐とのクラブ協議会開催。
 - ・北信第1グループIM（インターシティ・ミーティング：近隣都市数クラブが集まって親睦・情報教育、その他の目的で行われている会合のこと）開催の案内がきました。
- 11月17日（日）15日例会を振替ます。場所：上山田ホテル 12：45～登録開始です。

9 / 27 本日のプログラム

千木良賢作ガバナー補佐事前訪問例会
 会員卓話 若麻績信昭さん
 「お彼岸とお十夜」

ゲスト 八田慎蔵さん(エコール・ド・まつしろ倶楽部代表)

- ・清水光朗さん☆ご無沙汰をいたしました。また本日会社の株主総会ですが、荒れた総会にならぬ事を念じて。
- ・竹村利之さん☆八田慎蔵さん、松代学(佐久間象山)についてよろしくお願ひ致します。
- ・若麻績信昭さん☆善光寺御開帳松代回向柱寄進建立会・副会長の八田さんようこそ!
- ・滝澤 功さん☆八田さんご苦労様です。お話しを楽しみにしております。又、息子さんには大変お世話になっております。

・合計 14,000円 ・累計 157,110円

講師紹介 竹村利之さん

八田さんのお宅は15年ほど前に長野市景観重要建造物、現在7つあるのですがそのうちの一つに指定されました。八田さんとは10年位前に、設計管理を依頼されましてそれからのお付き合いになっています。八田家は嘉永4年に伊勢町に呉服、酒造、味噌、醤油、油を扱う店として度重なる徳川幕府の課税による財政困窮に苦しむ松代藩を支えてきたそうです。現在の八田邸は何度もの大火後、明治25年に建てられたもので、松代藩の御用商人の時代を忍ばせています。平成17年12月に国登録有形文化財としても登録されています。

ご自身は、1978(昭和53)郷里・松代の自営業を引継がれ、現在セブンイレブンも経営中です。1981年頃、朝日ジャーナル誌に連載され単行本化された小説 佐久間象山「杏花爛漫」に「八田慎蔵」(当家6代当主)の名が頻りに登場しているのに出会い全く無知・無関心ではまずいと気づき地域の歴史あるいは象山の探求をしようと一念発起されたそうです。現在、松代の文化と歴史遺産を切り口とした観光誘客事業を主催する「エコール・ド・まつしろ倶楽部」の代表を努める他、地域の元気づくりに関わっていらっしやいます。

例会案内

10月4日 ゲスト卓話 シリーズ松代学③
香山 篤美さん
「松代のまちづくりと“夢空間”」

ゲスト卓話 八田慎蔵さん

「30歳からの佐久間象山について」



30歳までの象山は、漢詩、儒学など漢学の分野では、江戸名家一覧に載るほどの第一級の新進の学者でした。

30歳になった時、これまでの学問の師、中国・清がアヘン戦争(1839~1841)によって粉砕され敗北しました。次は日本も植民地かという危機感、崇拜する神のごとき国を破る西洋とは何者か。衝撃と驚愕はどれほどだったか。この時象山の名伯楽松代藩八代藩主 幸貫公が、老中海防掛に就任し、象山は海防顧問に登用され、外国事情調査を開始しました。「海防八策」という意見書を上申(1842)。大砲、軍艦の備え、日本中で学校教育を、人材登用など提案したが 幕府中枢への提出は見送られた。



佐久間象山が八田家当主に宛てた手紙

しかし、象山の西洋への興味・知識欲は募る一方で、オランダ語の習得(八田当主への書簡)を決意し、西洋軍事戦法・大砲製造等の分野で、国内で第一人者になって行きます。「東洋の道徳 西洋の芸術」という方向性こそ大切と主張し、「夷の術を以て 夷を制す」という日本近代史の骨格を確立していきます。和蘭辞書出版の計画(1849年 39歳)あるいは、1851年41歳で江戸木挽町の象山塾における吉田松陰、小林虎三郎、勝海舟など明治以降の人材育成に努める等、常に全日本で西洋に立ち向かう、姿勢・方針をつらぬきました。

1853年(嘉永6)ペリー来航。翌年日米和親条約締結。松陰のペリー船への密航失敗。連座による9年間の蟄居生活が始まります。1864年幕命により京都にのぼり幕府の開国方針を朝廷に認めさせる工作中暗殺される。ただ象山の進取の思想は輝き続けました。